

【平成22年度】

## 川西市参画と協働のまちづくり推進に関する取組状況

平成23年11月  
川西市地域分権推進課

## 公表の趣旨

本市では、平成22年10月1日に「川西市参画と協働のまちづくり推進条例」を施行し、その基本理念に沿ったまちづくりを進めています。

同条例第16条には、「市長は、毎年度、参画と協働のまちづくりの推進に関する取組状況について、公表するものとする。」と規定されており、このたび、同条例に基づきその取組状況をまとめ、公表するものです。

## 総括

平成22年度は、116項目の参画と協働の取り組みを行いました。

なお、条例施行は年度途中ですが、通年の取り組み等もあるため、便宜上、平成22年度分をすべて掲載しています。

区 分	実施状況
1. 意見提出手続	2件
2. 公募委員を含む付属機関数	4件
3. アンケート調査	6件
4. 意見・提案の募集	1件
5. 講座・講習会	9件
6. フォーラム、シンポジウム	7件
7. ワークショップ	2件
8. 市政モニター	2件
9. 共催、実行委員会	8件
10. ボランティアとの連携	22件
11. 補助、助成、委託、報償、指定管理	40件
12. その他	13件

## 具体的取組

### 1. 意見提出手続

意見提出手続とは、条例第9条で規定されている、行政活動への市民参画の手法のひとつで、市民生活に大きな影響等のある計画などを策定する際に、その素案ができた段階で、その趣旨、内容等を市民等に公表し、これらについての意見等を募集し、またその意見等に対する市の検討結果を公表する一連の手続きです。

平成22年度は、条例施行以降、2件の意見提出手続を行いました。

	項目名	実施時期	具体的内容	意見提出者数	提出件数	担当課
1	市立川西病院事業経営改革プラン（改定素案）に対する市民意見募集	H23.2	経営効率化を目的に策定した市立川西病院改革プランにおいて、医師数の減少による医業収益の悪化にともない改定の必要性が生じたことから、同プランの改定素案について市民の意見を募集したものの。	11人	58件	政策課
2	市食育推進計画（素案）への市民意見募集	H23.1	市民に対し、「市食育推進計画（素案）」に対する意見募集を実施	11人	37件	健康づくり室

### 2. 公募委員を含む審議会等の付属機関数

審議会等の付属機関とは、市の政策形成や施策の実施等について調査審議等を求める場合に設置される、あらかじめ定数や任期を定めた複数の委員（学識経験者、各種団体代表、公募委員等）によって構成された合議制の諮問機関のことで

す。審議会等はあくまで諮問機関であり、その答申等を尊重して最終的な判断を行い、責任を負うのは行政です。

平成22年度に開催された審議会等の付属機関のうち公募委員を含むものは次のとおりです。

	付属機関名	22年度の開催回数	付属機関等の所掌事務	委員数	公募委員数	公募委員の割合	担当課
1	参画と協働のまちづくり推進会議	3回	(1) 条例第13条に規定する基本計画策定に関する重要事項の調査審議に関すること。 (2) 参画と協働のまちづくりの推進に関する取組状況についての検証に関すること。 (3) 前2号に掲げるもののほか、参画と協働のまちづくりの推進に関すること。	10人	2人	20%	参画協働・相談課
2	川西市男女共同参画審議会	2回	市長の諮問に応じ、男女共同参画社会の形成の促進に係る総合的施策の策定及び実施に関する重要事項について調査審議する。	11人	2人	18%	参画協働・相談課
3	川西市介護保険運営協議会	3回	(1) 委嘱事務 (2) 開催通知 (3) 資料作成 (4) 報酬支払 (5) 要綱改正 (6) 公開事務	8人	2人	25%	長寿・介護保険課
4	川西市食育推進会議	3回	本推進会議は、市長の諮問に応じ、川西市食育推進計画策定及びその推進に関する重要事項について審議調査する。（川西市食育推進会議規則 第2条）	18人	2人	11%	健康づくり室

### 3. アンケート調査

アンケート調査とは、市民等の意向やニーズ、活動の実態などを把握するため、特定のテーマについて、無作為または任意に抽出した市民等に対し、質問を行い、その回答を収集し、分析することによって必要な情報を引き出すものです。

平成22年度は、6件のアンケート調査を行いました。

	項目名	実施時期	具体的内容	アンケート回収率	回答者数	担当課
1	市民意識調査（一般・中学生）	H23.1	平成25年度から始まる新たな総合計画の策定にあたり、まちの現状と問題点、まちづくりに対する市民の評価・意向などを把握し、市民と行政が一体となった新しいまちづくりを進めていくための調査。	49.2%	1,473人	政策課
2	協働とパートナーシップのまちづくりを進めるための市民実感調査	H23.1	市民の日常生活における「実感」を毎年調査することにより、協働のまちづくりを進めるために設定した「ともにめざそうとする具体的な目標」の達成度合を測定し、総合計画の進捗状況や目標の妥当性を評価するための基礎資料としようとする調査。	58.9%	588人	政策課
4	来庁者窓口アンケート	H22.12	本庁舎窓口に来られた市民の声をお聞きし、窓口サービスの向上をはじめ、今後の取り組みの参考とするために実施したもの。主だった窓口職場等で、一定期間中、来庁者へ調査票をお渡しし、回答後、回収ボックスに投函していただいた。	-	309人	政策課
5	参画と協働のまちづくりに関する市民アンケート	H22.11	市民の参画と協働に関する意識や地域への参加状況等を調査し、今後の参画と協働のまちづくり推進施策に反映するための基礎資料とするもの。	50.3%	500人	参画協働・相談課
6	水道モニターに対するアンケート	H22.4 H23.3	水道モニターに対し、水道局広報や職員対応等についてアンケート調査を実施。	100.0%	36人	水道局総務課

欄中「-」は数値の把握ができないもの。以下の表においても同じ。

### 4. 意見・提案の募集

意見・提案の募集とは、市民等の多様な意見・提案を市の政策等に生かしていくため、各種ツール(電話・FAX・手紙・電子メール等)を活用し、特定のテーマ・課題または市政全般について、広く市民等に意見等を募集することです。

平成22年度は、1件の意見・提案の募集を行いました。

	項目名	実施時期	具体的内容	提出者数	担当課
1	市長への提案	通年	幅広い市民の声を直接把握するとともに、市政運営上の貴重な意見として施策に反映させるために実施	339人	参画協働・相談課

## 5 . 講座・講習会

講座・講習会とは、市民等の理解や協働が必要な政策等を進めるにあたって、人材の育成やスキルアップを図ること等を目的に、市民等に対し、基礎的・専門的な情報や知識、技術などについて学ぶ機会を提供する手法です。

平成22年度は、9件の講座・講習会を開催しました。

	項目名	実施時期	具体的内容	開催回数	市民等の参加者数 (のべ)	担当課
1	防犯講習	通年	市民に対する防犯講習を実施	45回	1743人	危機管理室
2	地震や風水害の講習会	通年	災害に対する基礎知識の習得と自助・共助の意識の向上を目的とした講習会を実施	13回	565人	危機管理室
3	まちづくり出前講座	通年	市民からの要望に応じて職員が出向き、行政のしくみや制度、事業の内容を説明する「まちづくり出前講座」を実施。	134回	6,146人	参画協働・相談課
4	自然ふれあい講座・リーダー養成講座	H22.6	自然体験を通じて親子のふれあいを強めるとともに、子どもの自然に関する興味や知識を深め、さらに野外活動にかかるリーダーを養成した。	5回	170人	青少年支援課
5	川西市青少年補導委員会総会・研修会	H22.4	講演：「不登校生から青少年の課題解決の糸口を図る」 講師：兵庫県立但馬やまびこの郷 所長 杉村省吾 様 対象：川西市青少年補導委員	1回	101人	青少年センター
6	補導委員郊外研修	H22.10	講演：「兵庫県立但馬やまびこの郷の活動」 講師：兵庫県立但馬やまびこの郷職員 対象：川西市青少年補導委員	1回	84人	青少年センター
7	子ども理解オープン講座	H22.7 H22.8 H22.11 H23.2	学校教育に関する今日課題について広く啓発するとともに、地域も家庭との連携を深める。	4回	184人	教育情報センター
8	明るい選挙推進講演会	H22.6	明るい選挙推進協議会委員、選挙啓発推進員に対し、専門的な情報や知識などを学ぶ講演会を開催	1回	52人	選挙管理委員会事務局
9	明るい選挙地域リーダー養成研修講演会	H23.1	市民に対し、選挙に関する情報や知識を学ぶ講演会を開催し、同時に明るい選挙推進協議会や選挙啓発推進員が行う選挙啓発事業を周知して、参加を呼びかける。	1回	94人	選挙管理委員会事務局

## 6. フォーラム・シンポジウム

フォーラムとは、政策等の立案や課題の解決に向けて、制度等の普及啓発や幅広い市民の意見・意向を把握するため、不特定多数の市民に参加を呼びかけ、行政の説明や専門家の講演等により、必要な情報を共有しながら、意見交換する公開討論会です。

シンポジウムとは政策等の推進にあたり、市民の理解を深めたり制度等の普及啓発を図るため、特定のテーマについて、専門家や市民、行政などの数名の報告者が、それぞれ異なった立場・側面から講演・発表を行い、その後、司会や会場からの質問に答える多数参加型の会議です。

平成22年度は、7件のフォーラム・シンポジウムを開催しました。

	項目名	実施時期	具体的内容	市民等の参加者数	担当課
1	川西市認知症ネットワーク構築事業 認知症徘徊行方不明者ゼロ作戦 推進フォーラム in 兵庫県川西市	H23.2	認知症についての講演、鼎談	300人	長寿・介護保険課
2	川西市認知症ネットワーク構築事業 認知症地域資源ネットワーク構築事業報告会	H23.3	10月からの取り組みに対する報告会と 認知症に関する講演会とシンポジウム	412人	長寿・介護保険課
3	PTCA青少年フォーラム	H23.1	広く市民に青少年の健全育成にかかる啓発 に向け、フォーラムを開催。青少年の善行 表彰、講演会、青少年の意見発表など。	1,000人	青少年支援課
4	「わがまち再発見！」景観 フォーラム	H23.2	5年間の写真展を振り返り、貴重な景観資源 を活かしながら景観まちづくりを推進して いくために開催。	65人	都市計画課
5	住宅耐震改修の市民フォーラム	H23.3	住宅耐震改修について、NPOと共催で フォーラムを開催 71人（57組）が参加	71人	建築指導課
6	青少年等健全育成にかかる協議 会	H22.6 H22.9 H23.1	川西保護区保護司会、川西防犯協会、川西 市青少年補導委員会の代表者が出席し、 各々の活動の中で見られる青少年の現状と 課題について意見交流を行った。	46人	青少年センター
7	市内量販店等との青少年の問題 行動防止会議	H22.6	学校・量販店・電鉄会社・関係団体・阪神 北少年サポートセンターなどが、青少年の 問題行動の現状と取り組みについて意見を 交流し、今後の意見のあり方を協議した。	41人	青少年センター

## 7. ワークショップ

ワークショップとは、計画の原案や素案といった叩き台のない白紙の段階から参画を求める手法で、所定のテーマについて、参加者(市民、専門家、行政職員等)が自ら参加・体験しながら、課題を発見し、対等な立場で相互に学びながら議論を重ねることで、合意を形成し、提案等をまとめるものです。市民参画の有効な手法として、都市計画や道路、景観、公園など、まちづくり分野の計画策定過程で多く活用されています。

平成22年度は、2件のワークショップを行いました。

	項目名	実施時期	具体的内容	開催回数	市民等の参加者数(のべ)	担当課
1	地震や風水害のワークショップ(図上訓練)	通年	災害に備えた地域防災体制作りの構築や計画の作成等を目的とした図上訓練を実施。	9回	510人	危機管理室
2	川西市認知症ネットワーク構築事業 認知症地域資源ネットワーク構築事業推進会議構成員ワークショップ	H22.12	関係者による認知症の方への対応における現状と課題	6回	57人	長寿・介護保険課

## 8. 市政モニター

市政モニターとは、公募等により選定した市民をモニターとして登録し、市の様々な施策や課題等について、郵送・インターネット等によるアンケートやモニター会議への出席等を依頼し、意見や提言を求める手法です。

平成22年度においては、2件の市政モニターによる活動を依頼していました。

	項目名	実施時期	具体的内容	人数	会議数	担当課
1	ごみ減量チャレンジ・モニター	月1回(6月~3月)	公募によるごみ減量チャレンジ・モニターがごみの減量化に向けた実践活動等を行う	11人	10回	リサイクル推進課
2	水道モニター	通年	水道モニターを委嘱し、毎日、残留塩素等の水質検査を行ってもらう。	24人	—	水道局総務課

## 9. 共催、実行委員会

共催とは、市民(団体や事業者)と行政のそれぞれが主催者となって共同で一つの事業を行う形態です。事業の実施責任や成果は構成するそれぞれの主体が共有します。

実行委員会とは、市民(団体や事業者等)と行政が新しい一つの組織を立ち上げ、そこが主催者となって事業を行う形態です。

平成22年度は、8件の共催、実行委員会形式による事業を実施しました。

	項目名	実施時期	具体的内容	市以外の構成団体数	参加者数 / 募集人数	担当課
1	地域福祉市民フォーラム	H22.12	市民との協働開催で地域福祉課題を共有しフォーラムを開催し、「どうする？私の老後、こどもの将来～成年後見を考える～」をテーマに実行委員会による寸劇、弁護士からの講演を行った。	3団体	—	福祉政策課
2	障害者週間事業	H22.12	障がい者一日サロンとしてイベント、相談、自主生産品の展示・即売、福祉機器の展示等を実施。H22は、地域福祉フォーラムと共同開催。	23団体	—	障害福祉課
3	障がい者作業所 自主製品販売促進事業	通年	障がい者福祉作業所などで生産している自主製品の販売を、毎月2回(第1・第4火曜日)実施。	14団体	—	障害福祉課
4	PTCA青少年フォーラム実行委員会	H22.10	フォーラムの開催に向けての企画・立案に、青少年問題協議会委員3名と市内高校生3名がPTA連合役員と実行委員会を開催。	4団体	—	青少年支援課
5	かわにし子育てフェスティバル	H22.11	子育て支援事業が実効性の高いものとなるよう、各機関・団体が運営を通じて連携を深める。子育て支援を身近に感じてもらい、家庭にひきこもっている親子の掘り起こしの一助とする。	17団体	—	子育て支援課
6	文化財ハイキング	H22.10	文化財ボランティアガイドの会会員による案内で、新市指定文化財を訪ねて観音寺や小戸神社等をハイキングした。	1団体	83.3%	社会教育室
7	文化財ハイキング	H23.3	文化財ボランティアガイドの会会員による案内で、満願寺から栄根寺廃寺公園までハイキングした。	1団体	93.3%	社会教育室
8	「関西文化の日」参加、見どころいっぱい郷土館	H22.11	郷土館見学と周辺の自然観察会及び市民によるハンドベル演奏会を開催した。	2団体	166.0%	社会教育室

## 10. ボランティア・NPO等との連携

ボランティア・NPO等との連携とは、担い手づくりや活動の場の提供など活動しやすい環境を整備し、様々なまちづくりの主体がその特性を生かし、またそれぞれの自主性、自発性を尊重しながら事業を進めることです。

平成22年度は、22件のボランティア・NPO等との連携を行いました。

	項目名	実施時期	具体的内容	回数 または 件数	ボランティ ア延人数 または グループ数	担当課
1	阪急宝塚沿線 観光 あるき	H22.4 H22.7 H22.11	川西市文化財ボランティアガイドの会の協力を得て、4月、7月、11月の計3回、黒川の里山などをめぐるガイドツアーを開催したものの。	3件	—	政策課
2	男女共同参画地域推 進員企画講座	H22.11	男女共同参画地域推進員（男女共同参画推進員0B）が、地域公民館等において年間3回の講座を企画、実施。市は、講師謝礼を支出。	3件	79人	参画協働・相談課
3	メタボリックシンド ローム予防講演会	H22.12	いずみ会：低カロリーのおやつ（サツマイモのお菓子）試食会 生活習慣病にかかりにくい食生活の啓発	1件	—	保険年金課
4	国保ガイドブック音 訳	H22.6	音訳グループ さわらびへ音訳依頼	1件	—	保険年金課
5	国保ガイドブック点 訳	H22.6	点訳グループ りんどうへ点訳依頼	1件	—	保険年金課
6	川西市認知症ネット ワーク構築事業 徘徊SOSネットワーク 模擬訓練	H22.10	認知症の徘徊訓練	11件	—	長寿・介護保険課
7	保育ボランティア	通年	講座等の開催時に受講者の子どもを預かり保育する。	17件	—	子育て支援課
8	子育て支援者スキル アップ講座	H22.9～ H22.11	地域に根ざした子育て支援の展開に寄与する人材のさらなる知識・技術の向上を目指す。	7件	—	子育て支援課
9	川西市路上違反広告 物除却ボランティア 活動	通年	川西市路上違反広告物除却ボランティア活動員設置要綱（平成17年12月1日施行）に基づき川西市が委嘱した川西市路上違反広告物除却ボランティア活動員が路上の違反広告物の簡易除却を実施する。	144回	720人	道路管理課
10	川西市花いっぱい大 作戦市民ボランティ ア活動	通年	市が管理する道路など公共施設について、市民がボランティアとなって、花などの植樹、水やり等を実施する。	—	113人 （14団体）	道路管理課
11	住宅耐震改修の市民 フォーラム	H23.3	住宅耐震改修について、NPOと共催でフォーラムを開催	1件	—	建築指導課
	項目名	実施時期	具体的内容（簡潔に記載）	回数 または 件数	ボランティ ア延人数 または グループ数	担当課

12	猪名川花火大会特別補導	H22.8	青少年補導委員と青少年センター職員が、猪名川花火大会会場及びその周辺を巡回し、青少年への声かけ活動を行った。	1件	—	青少年センター
13	歳末繁華街特別補導	H22.12	青少年補導委員と青少年センター職員が、川西能勢口駅周辺で市民への啓発グッズの配布、青少年への声かけ活動を実施した。	1件	—	青少年センター
14	川西市・猪名川町合同補導	H22.7 H22.12	猪名川町・川西市の補導委員及び補導センター職員が合同で、日生中央駅周辺を巡回し、青少年への声かけ活動を行った。	2件	—	青少年センター
15	三市（川西市・宝塚市・伊丹市）合同補導	H22.8	三市（伊丹市・宝塚市・川西市）の補導委員及び補導センター職員が合同で川西能勢口駅周辺の気になる箇所を巡回し、青少年への声かけ活動を行った。	1件	—	青少年センター
16	川西市・伊丹市合同補導	H22.10	伊丹市・川西市の補導委員及び補導センター職員が合同で、イオンモール伊丹テラス及びその周辺を巡回した。	1件	—	青少年センター
17	青少年補導委員による地区定例補導	通年	青少年の健やかな成長を図ることを目的に、120名の青少年補導委員が25班に分かれ、月2回の定例補導を実施した。	600件	—	青少年センター
18	おはなし・点訳・音訳	通年	おはなし会の開催、点訳・音訳サービスの実施	—	73人	中央図書館
19	おはなしまつり・バリアフリーDVD上映会の開催	H22.5 H22.7 H22.11	おはなしまつり（平成22年5月）の朗読劇やバリアフリーDVD上映会（平成22年7月・11月）における関連図書の紹介などを手話通訳付で実施	3件	—	中央図書館
20	第6回地域振興コーナー「障がい児・者への支援のカタチいろいろ」展示・イベント	H22.10～ H22.12	平成22年10～12月に市内ボランティアグループの紹介や活動風景などの展示とイベントを実施	1件	10グループ	中央図書館
21	投票参加呼びかけ運動	H22.6～ H22.7	参議院議員通常選挙（平成22年7月11日執行）の投票参加呼びかけ運動を明るい選挙推進協議会委員・選挙啓発推進員が実施	1件	120人	選挙管理委員会事務局
22	街頭啓発活動	H22.10	川西能勢口駅付近で川西市長選挙・市議会議員選挙の啓発物資を明るい選挙推進協議会委員が市民に配布し、投票参加呼びかけを実施。	1件	12人	選挙管理委員会事務局

## 1 1 . 補助・助成・報償・委託・指定管理

補助・助成・報償とは、市民公益活動団体等が公益的な活動を行う場合、その費用の全部または一部を市が支援するものです。委託・指定管理とは、ここでは、公の施設の一部の管理等を委託したり、指定管理者となってその管理・運営を行っているもののことを指します。

平成22年度は、40件の補助、助成、報償・委託・指定管理を行いました。

	項目名	具体的内容	担当課
1	生活安全推進協議会	生活安全推進協議会の構成団体として各コミュニティが参画しているが、25,000円分を上限として、地域での防犯活動のための消耗品を支給。	危機管理室
2	川西市防犯協会補助	地域ごとに住民の参加も得た地域防犯活動を強化すべく、取り組まれている。防犯啓発宣伝事業、地域防犯活動のための啓発宣伝費、活動費等を目的として補助金を支給。	危機管理室
3	交通対策事業補助（交通安全協会）	市・警察・関係団体と協働して行う市民啓発のための広報活動費やチラシ、啓発物品購入などのための費用を主たる目的として補助金を支給。	危機管理室
4	防災資機材管理等活動事業補助	1小学校区当たり50,000円を、地域での自主防災活動のために補助。	危機管理室
5	防災リーダー養成講座等助成	県実施のひょうご防災リーダー講座を受講の上、修了証を授与され、防災士資格試験に合格し、日本防災士機構に防災士の登録をした市民に、26,800円を上限に助成。	危機管理室
6	地域防災力強化訓練	1小学校区当たり25,000円を上限に、小学校区での防災訓練のための資材等を支給。	危機管理室
7	コミュニティ活動研修会 開設委託	川西市コミュニティ協議会連合会に対し、活動研修会の開設を委託	参画協働・相談課
8	川西市コミュニティ組織活動補助	体育祭や文化祭、納涼祭、プール開放といったコミュニティ活動を支援するために補助金を交付した。	参画協働・相談課
9	川西市コミュニティ活動設備等整備事業助成	（財）自治総合センター「一般コミュニティ助成事業」を活用し、緑台・陽明地区コミュニティ推進協議会に250万円を交付した。	参画協働・相談課
10	川西市コミュニティ活動設備等整備事業助成	久代小学校区コミュニティ推進協議会が複写機を整備する際に、事業費の半額を助成金として交付した。	参画協働・相談課
11	男女共同参画社会の実現をめざす活動事業への助成	男女共同参画社会の実現に向け活動している、または、活動しようとしている市民グループが行う啓発活動、調査研究などの事業を支援するため、1グループ当たり上限5万円を2団体に助成。	参画協働・相談課
	項目名	具体的内容	担当課

12	牧の台会館指定管理	牧の台会館指定管理料 (指定管理者: 牧の台小学校区コミュニティ推進協議会)	参画協働・相談課
13	多田東会館指定管理	多田東会館指定管理料 (指定管理者: 多田東小学校区コミュニティ推進協議会)	参画協働・相談課
14	加茂ふれあい会館指定管理	加茂ふれあい会館指定管理料 (指定管理者: 加茂小学校区コミュニティ推進協議会)	参画協働・相談課
15	満願寺ふれあい会館指定管理	満願寺ふれあい会館指定管理料 (指定管理者: 満願寺町自治会)	参画協働・相談課
16	市民活動センター・男女共同参画センター指定管理	市民活動センター・男女共同参画センター指定管理料 (指定管理者: NPO法人 市民事務局かわにし、(株)ジョイン川西)	参画協働・相談課
17	自治会報償	自治会が市と協力連携して住民福祉等の向上に努めていることから報奨金を交付するもの	参画協働・相談課
18	自治会館整備事業補助	自治会が地域住民の親睦及び福祉の向上を図ることを目的として自治会館の新築、増改築などの整備事業を実施する場合に、その要する経費(整備事業費)を補助する。	参画協働・相談課
19	川西市福祉デザインひろばづくり事業補助	福祉ネットワーク会議の開催 地域福祉拠点の維持・運営に係る事業 地域福祉拠点での情報の受発信事業 地区内での身近な相談及び専門機関への取次事業 地区ボランティア活動推進事業 地区内での子育て支援、児童、高齢者、障がい者(児)など住民の交流事業 前号に掲げるもののほか、地域福祉に資する事業	福祉政策課
20	川西市民生委員児童委員活動補助	民生委員・児童委員の地域における活動の補助及び資質向上のため研修等の実施	福祉政策課
21	民生・児童協力員設置等事業委託	民生・児童協力員制度の定着促進事業 「民生委員・児童委員、民生・児童協力委員連絡会」の開催	福祉政策課
22	老人憩いの家鶴寿会館指定管理	老人憩いの家鶴寿会館指定管理料 (指定管理者: 鶴の荘自治会)	長寿・介護保険課
23	老人クラブ育成事業補助	老人クラブ及び老人クラブ連合会が行う高齢者の生きがいと健康づくり並びに知識及び経験を生かした多様な社会活動に対し補助を行う	長寿・介護保険課
24	川西市青少年育成市民会議	市内7中学校区に設置している地区青少年育成市民会議が主体となって、地域関係団体間の情報交換や青少年に対するあいさつ・声かけ運動、青少年健全育成に関する講演会の開催や機関紙の発行などの活動に対して補助。	青少年支援課

	項目名	具体的内容	担当課
25	ジョイフル・フレンド・クラブ事業	各小学校区において、地域住民による実行委員会などを組織し、青少年の様々な交流の機会を創出する事業を支援するために補助。	青少年支援課
26	放課後子ども教室事業	各小学校区の住民が主体となって、子どもの安全で安心な居場所づくりの一環として、小学校の放課後や週末、夏休みなどに学習や文化・スポーツ活動などを行った事業に対して補助。	青少年支援課
27	青少年育成団体支援事業	川西市子ども会連絡協議会や川西リーダー隊、市内のボーイ・ガールスカウトの活動を支援	青少年支援課
28	地区計画及びまちづくり支援事業	地区計画の策定を行う住民団体に対し、専門家を派遣し、活動費の一部を助成。	都市計画課
29	川西市公園管理協力報償(自治会)	(1)公園の清掃 (2)施設点検その他の環境整備 管理協力公園数 185箇所	公園緑地課
30	川西市公園管理協力報奨(社会福祉法人)	(1)公園の清掃 (2)施設点検その他の環境整備 管理協力公園数 6箇所	公園緑地課
31	川西市公園管理協力(子ども会)	(1)公園の清掃 (2)施設点検その他の環境整備 管理協力公園数 21箇所	公園緑地課
32	地域住民による公園除草低木剪定管理委託	対象公園の区域全体の除草、低木剪定を行う公園を委託する。除草は、年3回、低木の剪定を必要とする箇所については、樹木の特性に合わせて年1回剪定を行う。	公園緑地課
33	市民緑化費補助 協会運営補助	・草花配布事業 ・GFG資材提供等 ・緑化意識啓発 ・緑化関係 図書整備費 ・各種コンクール開催費 ・都市緑化祭等開催費 ・オー ブンガーデン開催費 ・アダプト看板設置費・リンドウ育成費	公園緑地課
34	緑化意識啓発公共施設緑化	せん定講習会等花時計等草花交換、フラワーベース草花交換、駅前ロータリー・コーンコース等草花交換、公共施設樹木等供与	公園緑地課
35	ダリヤ育成事業補助	ダリヤ育成事業 黒川ダリヤ園一般開放事業	公園緑地課
36	環境衛生推進協議会事業補助	地区住民の自主的な組織活動を通じて生活環境の健全化を促進し、環境衛生思想の普及向上及び生活環境改善のため、地域住民と一体となり健康で明るく住みよい生活環境づくりに寄与していることから、その活動に対する経費を補助	美化業務課
37	再生資源集団回収奨励	家庭生活に伴って排出される新聞等再生資源を集団回収する登録団体に助成金を交付	リサイクル推進課

	項目名	具体的内容	担当課
38	古紙リサイクル	家庭生活に伴って排出される新聞等再生資源（古紙に限る）を集団回収する団体に、市の機密資源化文書から製造されたトイレットペーパーを交付	リサイクル推進課
39	加茂小学校第2運動場及び第2屋内運動場の地域利用に関する管理業務委託	加茂小学校第2運動場及び第2屋内運動場における管理業務の委託 施設利用の受付 施設の鍵の管理 施設の日常点検 その他地域利用に必要な業務	教育総務課
40	川西市青少年補導委員会活動補助	青少年補導活動 児童生徒の安全確保を目的とした見守り活動 青少年に有害な環境の浄化活動 青少年補導委員の資質向上を目的とした研修活動 他団体との連携による活動 その他青少年の健全育成に寄与する活動	青少年センター

## 12 その他

その他、上記に分類されないもので、参画と協働の取り組みとしては以下のものがあります。

項目名	実施時期	具体的内容	指標		担当課
1 公開事業レビュー	H22.7	公開の場において、学識経験者・市職員・公募による市民評価者が市の実施事業の議論を行った。	市民評価者数 6人	来場者数 131人	行財政改革課
2 安心・安全まちづくり川西市・猪名川町住民大会	H22.10	市民等に対し、防犯協会、猪名川町、警察と共催で防犯等に対し大会を実施。	参加人数 450人		危機管理室
3 生活安全推進協議会	通年	各地域において、「安全で住みよいまちづくり」を目指した活動情報の共有・交換等を行うため、生活安全推進連絡協議会及び専門部会を実施した。	会議回数 3回		危機管理室
4 防犯パトロール	通年	地域住民と共同し、パトロールを実施	143回		危機管理室
5 交通安全教室	通年	幼児とその保護者が参加する幼児交通安全クラブや、学校園等での幼児・児童に対する交通安全指導、警察と協力して実施する高齢者等の交通安全教室を開催。	142回	参加人数 8,326人	危機管理室
6 交通安全啓発	通年	市民の交通安全意識及び交通モラルの向上を図り、交通事故を未然に防ぐため、警察や関係機関との連携を行いながら、交通安全啓発活動を行った。	11回		危機管理室
7 自主防災会訓練	H23.3	各地域で実施される自主防災訓練に、消防等と協力し指導を行う。	自主防災会訓練回数 45回		危機管理室
8 自主防災組織連絡協議会	H23.2	自主防災組織連絡協議会としての会議、訓練等を行う。	自主防災組織 連絡協議会行事 2回		危機管理室
9 災害時要援護者支援体制づくり	通年	自治体やコミュニティ、自主防災会等の団体と協働で災害発生時に援護が必要とされる方々の安否確認を実施する。	市内支援体制作り 完了地区 86%		危機管理室
10 川西市防災訓練	H23.1	川西市地域防災計画に基づき、毎年1月に各防災機関等を交えての訓練を実施。	市以外の 構成団体数 23団体		危機管理室

	項目名	実施時期	具体的内容	指標		担当課
11	川西市認知症ネットワーク構築事業推進会議	H22.11	関係者とネットワーク構築事業の概要についての話し合い・報告（H22.11,H23.2,H23.3開催）	市以外の構成団体数 16団体		長寿・介護保険課
12	青少年ふれあいデー啓発コンクール	H22.7	青少年ふれあいデーを啓発するための川柳・写真・カレーの三種のコンクールを開催し、市内・外から広く作品を募集した。また、その選考に当たっては、学識経験者や一般の市民を審査員とした。応募数：川柳812点、カレー16点、写真30点	応募数 858点		青少年支援課
13	「わがまち再発見！」写真展	H22.4	市民目線で掘り起こした「わがまち川西」の景観資源を写真展で共有。気軽な市民参加手法で、地域への愛着と誇り、景観意識を醸成。（作品は、作者の思いを添え、HPで公開）	作品数 124点	応募者数 124人	都市計画課